

笠松みなと公園への道路に新しく信号機が設置されました 点灯式を開催

港町地内の堤防道路に、新しく押しボタン式信号機が設置され、その運用開始を記念した点灯式を、8月1日に行いました。

この信号機は、笠松みなと公園利用者などが安全に道路を横断できるように、町民の皆さんの強い要望を受け、数年を経て設置が実現したものです。

点灯式では、広江町長が稼働開始のボタンを押し、町議会議員や岐阜羽島地区交通安全協会笠松支部の皆さんなどが実際に道路を横断しました。



新しく設置された信号機の横断歩道を渡る皆さん

練習の成果を発揮

松枝小学校が自転車安全大会に出場



技能走行テストに挑む子どもたち

第37回岐阜県交通少年団自転車安全大会が、7月23日ヒマラヤアリーナで開催され、松枝小学校の6年生5人が出場しました。

大会には県内の18小学校が参加し、交通ルールなどの学科テストと自転車の安全走行・技能走行の実技テストに挑みました。

子どもたちは、放課後に自転車を練習し、大会本番では大きな声で安全確認をしたり、ゆっくりと慎重にコースを走行したり、練習の成果を発揮しました。

FC岐阜の試合に笠松町をPR

笠松町ホームタウンデー

7月20日長良川競技場で、FC岐阜と横浜FCが対戦、FC岐阜を応援する「笠松町ホームタウンデー」を開催しました。

試合前に、笠松清流太鼓の演奏や町スポーツ少年団による子どもホームゲーム、ピッチの“ど真ん中”で2人の子どもたちが大きな声で選手に熱いメッセージを届けました。

芝広場では笠松競馬によるミニチュアホースの乗馬体験、屋台村の笠松のブースでは、笠松町とFC岐阜とのコラボグッズの販売や、蹄鉄の形をしたソーシューバーガーも大好評。

また、ハーフタイムには、町内28企業から提供されたプレゼントと交換できる303個のボールをスタンドに投げ入れました。



ピッチでセンターサークル応援団として選手にメッセージを届ける子どもたち